

令和4年度進捗評価シート
湯浅町歴史的風致維持向上計画(平成28年3月26日認定)
(最終変更(軽微) 令和4年6月3日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致維持向上に向けた連携及び推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 良好な景観の形成に関する施策との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	3
2 重要伝統的建造物群保存地区拠点施設整備活用事業	4
3 大仙堀環境整備事業	5
4 歴史的風致形成建造物修理活用事業	6
5 熊野古道及び重要伝統的建造物群保存地区周辺道路美装化事業	
街路灯等整備事業	7
6 案内板等整備事業	8
7 防災施設整備事業	9
8 湯浅駅周辺整備事業	10
9 文化財等調査事業	11
10 空き家利活用事業	12
11 文化財公開等普及啓発事業	13
12 伝統行事等継承支援事業	14
13 特産物等PR総合支援事業	15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用の現状と今後の方針	16
2 文化財の保存修理等	17
3 文化財の保存・活用に関わる各種団体との連携	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	19

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	20
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
歴史的風致維持向上に向けた連携及び推進体制			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本計画の実現、推進に向けて、教育委員会、政策企画課、産業建設課、ふるさと振興課及び総務課が中心となり、国、県等関係機関との協議を行うとともに適切な支援を得る。また、歴史まちづくり法第11条の規定に基づき設置した推進協議会は、計画の実施に関する連絡・調整を行う。なお、必要に応じて、湯浅町都市計画審議会や湯浅町文化財保護審議会、湯浅町伝統的建造物群保存地区保存審議会、文化財所有者等と連絡調整を行うものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
湯浅町歴史まちづくり庁内連絡会議を2回実施し、歴まち計画全体の進捗報告をはじめ、道路美化や無電柱化について、公有施設の活用方法について等を議論した。 法定協議会である「湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会」は、令和4年4月25日に開催し、令和3年度の進捗評価等を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

令和4年度 湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会 会議

日時：令和4年4月25日(月)午後2時00分～
場所：湯浅町役場 3階 なぎホール

会 議 次 第

- 開 会
- 議 題
 - (1) 令和3年度歴史的風致維持向上計画の進捗評価について
 - (2) 湯浅町歴史的風致維持向上計画 軽微な変更について
- その他連絡事項等
- 閉 会

令和4年度 湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会
(R4.4.25 開催)

議事内容

(1)進捗評価について

- ・令和3年度 歴史的風致維持向上計画の進捗報告

(2)歴まち計画 軽微な変更について

- ・湯浅駅旧駅舎の形成建造物指定に伴う変更 など

(3)その他

- ・勝楽寺須弥壇について

- ・歴まち計画と文化財保存活用地域計画について

令和4年度歴史的風致維持向上計画推進協議会の概要



湯浅町歴史まちづくり庁内連絡会議の様子

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
良好な景観の形成に関する施策との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	〔都市計画法〕本計画における重点区域は、一部を除き都市計画区域に含まれており、都市計画マスタープランにおいて、豊かな自然・歴史的資源を取り入れたまちづくりを推進する旨定めている。都市計画区域に指定されていない周辺地域においても、中心市街地等と一体的な整備や地域間の連携を強化することで課題に対応し、バランスのとれた整備を進めることとする。 〔景観法〕本歴史的風致維持向上計画の内容を反映した景観計画の策定等を検討する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度に、湯浅町都市計画マスタープラン(平成12年度策定)を、重伝建選定や有田圏域都市計画区域マスタープラン(和歌山県策定)、湯浅町歴史的風致維持向上計画との整合性を図り、歴史的景観の維持、良好な景観形成をまちづくりの目標に盛り込んで改訂している。また、令和4年度からの第四次湯浅町長期総合計画では、町の将来像を「歴史と人の温もりで支え合うまち 湯浅」として、良好な市街地環境を保全することとし、自然景観や町並み保存、空家対策を進めるとしている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

 状況を示す写真や資料等
 第四次湯浅町長期総合計画(令和3年3月)


(1) 市街地の整備

- ①「湯浅町都市計画マスタープラン」・「湯浅町歴史的風致維持向上計画」をはじめとする関連計画と連携して、伝建地区の適正な保全に努めるとともに、災害にも強い安全で調和のとれた市街地整備を図ります。
- ②地域活性化の拠点となる駅前複合施設「湯浅えき蔵」周辺に駐車場・駐輪場・公館等を整備し、住民の利便性を推進します。
- ③平成30(2018)年度に策定した「熊野古道及び重伝建地区周辺道路等整備計画」により、安全で利用しやすい、町並みの景観に配慮した道路整備を進めます。
- ④安心安全なまちづくりの推進並びに良好な景観及び生活環境の保全のため、空家等の適切な空家対策を行うとともに、特定空家^(注)については、空家法に基づく対策を進めます。
- ⑤市街地における土地に関する権利を明確にする地籍調査を継続して実施し、公共事業の円滑化や土地の権利関係の明確化、公租公課等の負担の公平化等を目指します。

(2) 景観の保全

- ①本町の豊かな自然環境について、誇れる地域資源として適切な保全・活用を努めるとともに、森林・丘陵地については、無秩序な開発計画を未然に防止します。
- ②良好な都市景観を育むため、山林や海岸の豊かな自然景観、伝統的な町並みや寺社等の周辺環境等の歴史的・文化的景観等の維持・保全に努めるとともに、これらの保全を通じて、郷土への誇りや愛着の向上、観光誘客の資源として磨き上げることにも努めます。

湯浅町都市計画マスタープラン



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物に特定している歴史的建造物の保存修理とその他の建築物の修景による整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の計画的な修復や修理を実施することにより、適切な保存を図ることができた。 ☐ 令和4年度の実績 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 ・建築物の修理に対する補助 3件、修景(塀)に対する補助 1件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
重要伝統的建造物群保存地区内における修理・修景に対する補助			
			
修理物件 (八川家住宅主屋)			
			
修理・修景物件 (北野家住宅主屋・塀)			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和4年度	
項目	現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区拠点施設整備活用事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成19年度～
支援事業名	町単独事業、伝統的建造物群基盤強化事業(公開活用)、地方創生推進交付金
計画に記載している内容	歴史的風致を活かしたまちづくりの拠点施設として必要な歴史的建造物を保存・整備し、重要伝統的建造物群保存地区の公開活用を促進する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
整備を進めてきた旧栖原家住宅の工事が完了し、令和4年11月12日より一般公開を開始した。解説板やVR映像などにより醤油醸造についての理解を深めることができる施設として順調に来館者を受け入れている。(R4.11～R5.3:9,633人) 既存の拠点施設についても、引き続き公開を行いながら、地域住民とも連携を図って活用している。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

旧栖原家住宅(フジイチ)の公開

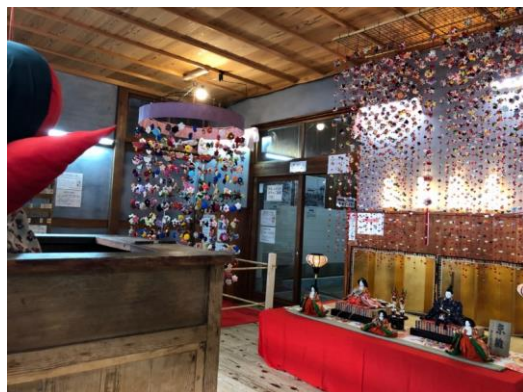


旧栖原家住宅 主屋



展示の様子

拠点施設の公開活用

甚風呂
(後の雛まつりの展示)北町ふれあいギャラ
リー

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
大仙堀環境整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～		
支援事業名	町単独、地方創生推進交付金		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区の象徴である大仙堀の保存と水辺環境の整備を行い、住環境整備と観光振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度に実施した調査成果(石積みレーザー探査・ボーリング調査等)を踏まえた整備案について検討し、港湾管理者である和歌山県と協議を継続している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
大仙堀 			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物修理活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～		
支援事業名	町単独事業、社会資本整備総合交付金		
計画に記載している内容	歴史的風致の活動が行われる建造物及び良好な市街地環境を構成する建造物の歴史的風致形成建造物への指定を検討し、それらを保存活用するための取組みを進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物に指定した「湯浅駅旧駅舎」について、改修整備工事を実施した。工事にあたっては、令和2年度に実施した「湯浅駅旧駅舎建造物調査」の成果を踏まえ、痕跡調査を実施しながら行い、開業当初の姿を復原した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
旧国鉄紀伊湯浅駅再生利活用工事			
			
			
屋根に残された菱葺きの痕跡		待合室のカウンターの痕跡	

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
熊野古道及び重要伝統的建造物群保存地区周辺道路美装化事業 街路灯等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～、平成14年度～		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	熊野古道や重要伝統的建造物群保存地区とその周辺の街路について、良好な市街地環境の保全整備と来訪者の周遊性を高めるために、復元、再生、町並みとの調和、歩行者の利便性など整備手法を十分検証し、美装化を進める。 重要伝統的建造物群保存地区とその周辺や熊野古道において、良好な市街地環境にふさわしい街路灯などを整備し、歴史的景観の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
山田川の右岸を通る熊野古道(町道湯浅126号線)の歩道を、景観に配慮した舗装と木製のガードパイプとする事業のうち、飛越橋から一里松橋までの区間について完成した。また、それ以外の熊野古道や伝建地区周辺の道路美装化や無電柱化について、庁内連絡会議において検討・協議している。 伝建地区の街路灯については、交換の際に使用するものを電球色にすることで、順次統一していっている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
町道126号線(熊野古道)景観に配慮した張り出し歩道  			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
案内板等整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成28年度～		
支援事業名	歴史的風致活用国際観光支援事業、町単独事業		
計画に記載している内容	熊野古道や重要伝統的建造物群保存地区とその周辺における案内板や主要な文化財などの説明板の多言語化・統一デザインを検討し設置するほか、来訪者の周遊性と利便性の向上のため必要な場所には、オープンスペースを活用した広場、駐車場、トイレなど、周遊性向上のための施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝建地区内の県道沿いに和歌山県が整備をしていた湯浅まちなみの駅が完成し、駐車場とトイレが整備されたことにより、伝建地区来訪者の利便性がさらに向上した。敷地内には、さらに火災により焼失した伝統的建造物の復元を図るべく休憩所の新築修景工事を行った。 施無畏寺では、(一社)湯浅町観光協会が国史跡である白上遺跡までの案内板について修繕を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

湯浅まちなみの駅



駐車場・トイレの完成・まちなみの駅 供用開始



新築修景工事により完成した休憩所

施無畏寺(白上遺跡)の案内板のやりかえ
(湯浅町観光協会 事業)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和4年度	
項目	現在の状況
防災施設整備事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成29年度～
支援事業名	町単独事業、伝統的建造物群基盤強化事業（防災施設等）
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区において、初期消火活動等に有効となる歴史的景観に配慮した防災設備を検討し、設置を進めるとともに、地域住民による防災訓練に取り組む。
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で	
コロナ禍により地域住民による防災・防火訓練の実施には至らなかったが、町全体の地震津波避難訓練をはじめ、防災・防火に関する意識づけ等の取り組みが行われた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



湯浅町津波避難訓練の様子



過去の防火訓練の様子(平成31年度)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
湯浅駅周辺整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～		
支援事業名	町単独事業、社会資本総合整備交付金事業(都市構造再編集集中支援事業)		
計画に記載している内容	昭和2年(1927)開業当時の駅舎の文化財指定等による保存・整備をはじめ、町の玄関口である湯浅駅とその周辺において、歴史的な魅力の発信や観光客受入機能の強化を目的とした総合的な駅周辺整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
湯浅駅旧駅舎の改修整備と、旧駅舎周辺の外構整備を実施した。湯浅駅旧駅舎は、令和5年度のはやい段階で、飲食・物販の店舗としてオープンする予定で、湯浅町の南側の拠点として、また地域住民の集える場所としての湯浅駅周辺整備が完成する予定。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



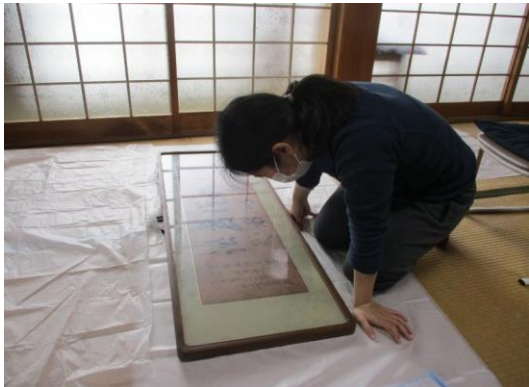
湯浅駅周辺整備の状況(旧駅舎付近 空撮)



地元の子供たちによる菱葺屋根の裏面への記名

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財等調査事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～		
支援事業名	町単独事業、埋蔵文化財発掘調査等事業、文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	町内にある建造物、史跡、民俗文化財などの文化財の調査を実施し、学術的価値を確認すると共に、未指定文化財の指定等や、既指定等文化財の上位指定を進める。また、醍醐寺金堂の湯浅での所在地の研究や、歴史資源のリストアップとアーカイブ化を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
周知の埋蔵文化財包蔵地における試掘確認調査が1件あった。 そのほか、和歌山県文化遺産課や和歌山県立博物館、専門家の調査への協力などを随時行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
青木皿遺跡 試掘確認調査			
			
専門家等の調査への協力			
			
天野雅敏氏(神戸大学名誉教授)による湯浅の醤油醸造関連史料調査への協力		和歌山県立博物館による町内寺院等の所蔵美術品の調査への協力	

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
空き家活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	町単独事業、文化財建造物等を活用した地域活性化事業		
計画に記載している内容	重点区域を中心とする町内の空き家において、まちづくりと連携した様々な活用提案の支援を行う。また、UIターン移住の希望者や農業・漁業の新規就労者の住まいなど、定住促進のための利活用の促進を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
株式会社つぎと・株式会社紀陽銀行と湯浅町の3者による包括連携協定を締結し、町内の古民家等の資源を活用したまちづくりの推進、湯浅駅旧駅舎の活用整備等を進めていくこととしている。その中で令和4年度にはセミナーを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
古民家等活用セミナー(R4.5.24)			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財公開等普及啓発事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	本町固有の歴史的風致に関する文化財の公開・展示や講演会、ワークショップ、見学会の開催、パンフレット等の作成など、さまざまな形で情報発信や普及啓発のための取り組みを進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
町民歴史講座は、製網業・醤油醸造の歴史をテーマに、専門家を招へいして開催した。また、公有化を進めている湯浅城跡の公開日の設定、旧栖原家住宅の一般公開開始と旧蔵資料の展示、歴史講座にあわせた文化財展示などを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

町民歴史講座



「湯浅の漁網～松宮家文書からみえるもの～」
講師:神奈川大学 日本常民文化研究所 越智信也氏



「日本の醤油の成り立ちと湯浅醤油」
講師:神戸大学 名誉教授 天野雅敏氏

文化財の公開・展示



湯浅城跡の公開



町民歴史講座にあわせた文化財展示

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
伝統行事等継承支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	町単独事業、文化遺産総合活用推進事業		
計画に記載している内容	町内各所にある社寺等で継承されている祭礼などの伝統行事や民俗 芸能、町内に伝わる風習や食文化など、幅広い伝統文化を継承するための記録・用具等整備・後継者育成・情報発信など総合的な支援に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
顯國神社や國津神社の三面獅子や祭礼は、3年ぶりに実施されることになり、コロナ禍による中断で大きな影響を受けることなく再開した。また、シロウオ漁の普及継承のために実施されてきたシロウオまつりも4年ぶりに開催され多くの来場者でにぎわった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



顯國神社 若宮祭の様子



國津神社 秋祭の様子

 広川河口のシロウオ四つ手網漁
 (シロウオまつりの様子)


シロウオ漁見学



シロウオまつり 大勢の方で賑わう会場の様子

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
特産物等PR総合支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	地方創生推進交付金事業、日本遺産魅力発信推進事業、地方創生拠点整備交付金事業		
計画に記載している内容	醤油・金山寺味噌、シラスをはじめとする水産物、柑橘類などのPRや情報発信において、歴史的価値付けをプラスし、地域ブランドの確立を目指してPR等を推進する。同じく、特産物を生産する歴史的環境保全のため、湯浅湾とその周辺に広がる段々畑の歴史的景観の保全整備等に努め、担い手育成など生産事業者に対する支援に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
有田・下津地域の伝統的なみかん栽培法について、世界農業遺産の国内候補地となり、世界農業遺産へ大きく前進した。これら農産物や醤油・金山寺味噌といった特産物のPRのため、11月23日～28日の6日間開催された、阪神百貨店のPRイベント「日本のうまいもん×ふるさと納税」に参加し、ふるさと納税返礼品として取り扱いのある特産物を販売した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
世界農業遺産の国内候補地へ			
			
「日本のうまいもん×ふるさと納税」(11/23～28)			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の保存・活用の現状と今後の方針			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	指定等文化財については、文化財保護法や関係法令に基づいて適切な保護措置を講じる。未指定文化財については、現状把握を行い文化財的価値を調査し、必要な措置を講じる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は、重要文化財としてはほぼ100年ぶり、建造物に限ると湯浅町初となる「角長(加納家住宅)」の指定(R4.12.12)をはじめ、「逆川王子跡」の国史跡 熊野参詣道への追加(R4.11.10)、「旧堀田茶舗(立石茶屋)」3棟(R4.10.31登録)と「阿瀬家住宅」3棟(R5.3.17登録答申)の国登録有形文化財といった国の文化財指定等が続いた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

令和4年度の新規指定等文化財



角長(加納家住宅)
国 重要文化財 令和4年12月12日 指定



逆川王子跡
国 史跡 令和4年11月10日 指定
(熊野参詣道 紀伊路の構成資産追加)



旧堀田茶舗(立石茶屋)主屋・座敷棟・土蔵
国 登録有形文化財 令和4年10月31日 登録



阿瀬家住宅 主屋・道具蔵・米蔵
国 登録有形文化財 令和5年3月17日 答申

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の保存修理等			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の保存修理が必要な場合は、詳細な調査を行うと同時に、文化財の価値の所在を明らかにし、適切な文化財の価値の維持を図りつつ、計画的に実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
和歌山県指定文化財である施無畏寺鎮守社について、著しく損傷していた檜皮葺の屋根葺替を中心とした修理工事を実施した。修理途中には、隣接する本堂(県指定文化財)でシロアリによる被害が確認され、防蟻処理や被害のあった木材の取替えもあわせて行った。 そのほか、伝建地区では町指定文化財でもある旧栖原家住宅の整備事業をはじめ、保存修理事業が実施された。(P3、P4を参照)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
施無畏寺鎮守社等 修理事業  覆屋を揚屋したうえで修理を実施  檜皮葺替作業 鎮守社の修理状況			
  本堂のシロアリ等による劣化・腐朽状況			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の保存・活用に関わる各種団体との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 保存活用に関わる各種団体の連携や、ネットワーク化、組織強化、新たな団体の設立促進などを通じて、町全体で文化財を支えていく体制の構築に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

全国で唯一、文化財保存活用支援団体指定を行っている一般社団法人和歌山県建築士会と、ヘリテージマネージャー養成講習会における連携協力を行ったほか、湯浅まちなみの駅における新築修景事業では、担当ヘリテージマネージャーを湯浅の伝建地区への理解度等をもとに選定し、設計監理業務を行うなどの取組みが行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

文化財保存活用支援団体との連携



ヘリテージマネージャー養成講習会
(R4.11.12)



着工前協議の様子

旧橋野家住宅主屋修景工事(湯浅まちなみの駅休憩所)の設計監理業務の受託

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

令和4年度		
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
湯浅町観光協会 白上遺跡周辺を清掃	令和4年5月20日	有田タイムス
小路を進め 迷子のススめ 湯浅・しょうゆ醸造の町(おでかけ関西ちよつとウラ話)	令和4年5月27日	朝日新聞
逆川王子跡 国史跡(熊野参詣紀伊路)に追加指定	令和4年7月1日	和歌山特報
後の雛まつり 愛らしい秋 ここに	令和4年9月7日	毎日新聞
6代目加納さん「伝統守る責任」「角長」重文に答申	令和4年10月13日	産経新聞
ガイドと巡る日本遺産 湯浅と広川 12月3日参加者募る	令和4年10月27日	読売新聞
湯浅大宮顯國神社秋祭り 3年ぶり御所車 盛大に渡御	令和4年11月1日	有田タイムス
醤油醸造 歴史染み込む 旧栖原家住宅 公開始まる	令和4年11月17日	毎日新聞
和歌山県版お年玉付き年賀はがきのデザインに「湯浅町 醸造の香り漂う町」	令和4年11月19日	有田タイムス
醤油醸造家 往時伝える 湯浅・重伝建の栖原家	令和4年12月18日	読売新聞
子ども達の思い詰まる屋根 湯浅駅旧駅舎に設置	令和4年12月21日	有田タイムス
短信 日本の醤油の成り立ちと湯浅醤油	令和5年3月6日	朝日新聞
旬のシロウオ味わう 湯浅、広川4年ぶり躍り食いなど	令和5年3月20日	読売新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
文化財指定等が多く、またコロナ禍によって中断されていた行事が再開されてきたこともあり、湯浅町の歴史や文化財を取り扱った報道が多く見られた。また、テレビ放送では、それらを取り扱うニュース番組だけでなく、ふるさと納税関係の情報番組や旅番組でも湯浅町が取り上げられるなど、様々なメディアで取り上げられた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画の進捗に影響あり □計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		

法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	令和4年度
・ 法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和5年度 湯浅町歴史的風致維持向上計画推進協議会 会議等の開催日時: 令和5年5月8日(月) 14時00分～	
(コメントの概要) ◆湯浅町の取組は他に自慢できる成果を残してきている。この進捗報告は様式が決まっているから難しいこともあるだろうが、他のところでもうまくアピールしていいのではないかな。 ◆例えば、他団体とのかかわりの中でのヘリテージマネージャー(和歌山県建築士会(文化財保存活用支援団体))の演習を通じて地域の人が関心を持ってくれたということも考えると、こういう取組がまちづくりに繋がっていくと思う。 ◆空き家に関する取組についてどう考えていくか。湯浅のようなところは、空き家＝歴史的な建造物ととらええるとすごい財産を持っているということになる。 ◆重伝建を目指していたころから考えると、湯浅町ではかなり多くの懸案事項が進んできた。(旧栖原家の改修と公開、角長の重要文化財指定など)全国レベルで誇れること。 ◆栖原地区について、施無畏寺から苅藻島の景観、柑橘類の栽培、栖原角兵衛屋敷なども含めて重要な文化的景観の価値があると思う。調査をはじめてみてはどうか。 ◆建築基準法の緩和条例(その他条例)について、県単位で検討をしてもらったらどうか。登録文化財やほかの大事な建物についてもうまく守っていく必要がある。 ◆伝建報告書にもある北村家は湯浅で一番古い町家だと言われている。貴重な資料も含めて心配している。 ◆北村家にもかかってくるが、都市計画道路が湯浅の町の中央を通っている。防災の観点もあるので簡単にはいかないだろうが、考えていってもらいたい。	
(今後の対応方針) ◆町の広報誌やホームページでの情報発信、報道機関への情報提供など、引き続き歴史まちづくりに関する取組やその成果についてアピールしていく。 ◆古民家の活用について、昨年度のセミナーやそれ以外の場面でも、すでに何件か所有者の方から相談を受けている。民間の取組にうまく繋げていけたら。 ◆伝建地区・醤油醸造のことはもちろん、ほかの地域やほかのテーマに関する歴史・文化遺産は多くある。これらについて、さらなる掘り起こしや必要に応じた保護措置について、文化財保存活用地域計画と連動した調査や働きかけを進めていく。 ◆その他条例について、県の担当課にも情報を共有して考えていく。 ◆伝建地区外の重要な建造物や資料群について、県や県立博物館などと連携した調査や文化財レスキューについて協議を進めている。引き続き成果が出せるようにつとめる。	